平成25年2月8日

各 位

上場会社名　株式会社ミマキエンジニアリング
代表者　代表取締役社長 小林　久之
（コード番号　6638）
問合せ先責任者　IR・広報部長 小林　修
（TEL　0268-64-2281）

営業外費用（為替差損）の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成25年３月期第３四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年12月31日）において、下記のとおり営業外費用を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、平成24年11月９日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	29,877	803	504	325	24.36
今回修正予想(B)	32,000	950	400	330	24.73
増減額(B-A)	2,123	147	△104	5	
増減率(%)	7.1	18.3	△20.6	1.5	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	26,876	419	274	214	16.08

修正の理由

１．営業外費用（為替差損）の計上について

平成25年３月期第２四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年９月30日）において、為替差損90百万円を計上しましたが、その後の為替相場の変動により、第３四半期連結会計期間（平成24年10月１日～平成24年12月31日）では、139百万円の為替差損が発生したため、第３四半期連結累計期間（平成24年４月１日～平成24年12月31日）において、為替差損230百万円を営業外費用に計上いたします。

これは、第３四半期連結会計期間において、為替相場が円安に進行したことに伴い、外貨建予定取引に係る為替予約の時価評価損失等による為替差損を計上したことによるものであります。

なお、通期の為替差損益の計上額は、今後の為替相場の動きにより変動いたします。

２．通期業績予想の修正について

売上高は、国内、欧米先進国地域及び新興国地域ともに、既存製品の販売が堅調に推移し、今期発売の新製品の市場投入が順調に進んでいることに加え、為替相場が円安傾向に転じたことから、前回予想を上回る見込みとなり、これに伴い、営業利益も前回予想を上回る見込みとなりました。

しかしながら、第４四半期連結会計期間においても為替差損等の営業外費用の計上が見込まれるため、経常利益は前回予想を下回る見込みとなりました。なお、当期純利益は、繰越欠損を有している連結子会社の損益改善が見込まれるため、ほぼ前回並みの予想となりました。

（注）通期連結業績予想の前提とした残余期間の主な為替レートは、１米ドル＝92円、１ユーロ＝123円としております。

※当社は、平成24年４月１日付で株式１株につき200株に株式分割を行っております。
※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上